

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【四半期会計期間】 第43期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 シノブフーズ株式会社

【英訳名】 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本崇志

【本店の所在の場所】 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

【電話番号】 06(6477)0113(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 清水秀輝

【最寄りの連絡場所】 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

【電話番号】 06(6477)0113(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 清水秀輝

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第2四半期 連結累計期間	第43期 第2四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	19,268,388	20,033,340	38,195,832
経常利益 (千円)	591,560	776,213	920,624
四半期(当期)純利益 (千円)	328,643	402,219	424,150
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	322,748	398,405	428,344
純資産額 (千円)	9,777,569	10,082,092	9,813,010
総資産額 (千円)	18,226,037	18,187,275	17,753,629
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	21.16	26.12	27.31
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	53.6	55.4	55.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	879,015	1,350,578	1,405,489
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	292,358	384,700	716,180
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	374,818	366,699	901,914
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,301,996	2,476,730	1,877,552

回次	第42期 第2四半期 連結会計期間	第43期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	10.17	12.11

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社および子会社（株式会社エス・エフ・ディー以下、当社グループという）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要に伴い緩やかな回復傾向にありましたが、世界経済の減速等を背景に、先行き不透明な状況が続いております。

米飯加工食品業界におきましては、個人消費に回復が見られないなか、コメを中心とした原材料価格の高騰に加え、エネルギーコストの増加、競争の激化など、引き続き厳しい経営環境となりました。

こうした状況下、当社グループは、お客さまのニーズに添い、シノプフーズにしかできない付加価値の高い商品開発に努めた結果、コンビニエンスストアやスーパーマーケットを中心に、主力の弁当、おにぎりに加え調理パンが順調に売上を伸ばしました。

生産面では、米価の高騰による材料費増加を、ロスの削減、生産効率の改善など、徹底したコストダウンで吸収し、安全・安心な製品をお届けするために品質・衛生管理の充実に取り組みました。また、環境負荷軽減のため、商品のラップレス化に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は200億3千3百万円(前年同四半期比4.0%増)となり、営業利益は7億3千8百万円(前年同四半期比34.4%増)、経常利益は7億7千6百万円(前年同四半期比31.2%増)、四半期純利益は4億2百万円(前年同四半期比22.4%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現金及び預金と売掛金の増加を主因に前連結会計年度末と比較して4億3千3百万円増加し、181億8千7百万円となりました。また、純資産は、四半期純利益4億2百万円を計上する一方、配当金の支払6千9百万円、自己株式の取得5千9百万円等により前連結会計年度末と比較して2億6千9百万円増加し、100億8千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、13億5千万円の収入(前年同四半期比4億7千1百万円収入増)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益6億7千3百万円および減価償却費3億4千6百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億8千4百万円の支出(前年同四半期比9千2百万円支出増)となりました。これは、主として有形固定資産の取得3億4千7百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億6千6百万円の支出(前年同四半期比8百万円支出減)となりました。これは、主として借入れによる収入9億円および借入金の返済による支出11億3千7百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、24億7千6百万円(前年同四半期比1億7千4百万円増)となりました。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループの研究開発活動については、米飯製品の競争激化にともなう製品の多様化、ライフサイクルの短縮に対応するとともに、流通チャネルに適応した製品、鮮度への要求にも配慮した製品の開発に力をそそいでおります。

また、既存製品の改良・開発につきましては、ますます顕著になってくる消費者のライフスタイルの変化に適応する製品づくりを進めてまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,656,000
計	45,656,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,970,964	15,970,964	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	15,970,964	15,970,964		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		15,970		4,693,422		1,173,993

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	平成24年9月30日現在
			発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社エム	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号	976	6.11
シノプフーズ取引先持株会	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号	762	4.78
松本 恵美子	大阪市西淀川区	738	4.62
松本 隆次	大阪市西淀川区	697	4.36
佐々木 真司	兵庫県宝塚市	694	4.35
松本 龍也	大阪市西淀川区	461	2.89
松本 崇志	大阪市淀川区	448	2.81
株式会社近畿大阪銀行	大阪市中央区城見1丁目4番27号	217	1.36
前田 治和	大阪市西淀川区	200	1.25
西村 重喜	大阪市西淀川区	187	1.17
計		5,383	33.71

(注) 上記のほか当社所有の自己株式641千株(4.02%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式 (自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 641,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,229,000	15,229	
単元未満株式	普通株式 100,964		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	15,970,964		
総株主の議決権		15,229	

(注) 「単元未満株式数」には、当社所有の自己株式539株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) シノプフーズ株式会社	大阪市西淀川区竹島 2丁目3番18号	641,000		641,000	4.01
計		641,000		641,000	4.01

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
専務取締役 (CVS事業担当 兼関西統轄本部長)	専務取締役 (大阪第1本部長)	西村 寿清	平成24年7月1日
常務取締役 (NB事業担当)	常務取締役 (東京統轄本部長)	隅田 真年	平成24年7月1日
取締役 (管理本部長兼管理部長)	取締役 (管理本部副本部長 兼管理部長)	清水 秀輝	平成24年7月1日
取締役 (管理本部副本部長)	取締役 (管理本部長)	上田 往紀	平成24年7月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)にもとづいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)および第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)にかかる四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,877,552	2,476,730
売掛金	3,674,946	3,801,446
商品及び製品	23,664	23,664
原材料及び貯蔵品	203,830	197,783
その他	421,039	272,570
貸倒引当金	10,712	2,660
流動資産合計	6,190,320	6,769,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,872,450	2,729,381
土地	6,430,964	6,384,498
その他(純額)	1,266,535	1,328,448
有形固定資産合計	10,569,950	10,442,328
無形固定資産	52,224	55,168
投資その他の資産		
その他	975,891	952,194
貸倒引当金	34,757	31,950
投資その他の資産合計	941,134	920,243
固定資産合計	11,563,309	11,417,740
資産合計	17,753,629	18,187,275
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,573,365	2,807,318
短期借入金	1,754,454	1,100,735
未払金	1,606,047	1,573,552
未払法人税等	56,168	177,322
賞与引当金	247,000	271,780
その他	298,370	355,217
流動負債合計	6,535,405	6,285,926
固定負債		
長期借入金	1,044,018	1,460,360
退職給付引当金	288,934	292,012
その他	72,260	66,882
固定負債合計	1,405,213	1,819,256
負債合計	7,940,619	8,105,182

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693,422	4,693,422
資本剰余金	3,958,242	3,958,242
利益剰余金	1,240,466	1,572,796
自己株式	93,563	152,997
株主資本合計	9,798,567	10,071,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,443	10,628
その他の包括利益累計額合計	14,443	10,628
純資産合計	9,813,010	10,082,092
負債純資産合計	17,753,629	18,187,275

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,268,388	20,033,340
売上原価	15,145,059	15,687,168
売上総利益	4,123,329	4,346,172
販売費及び一般管理費	3,573,568	3,607,371
営業利益	549,760	738,801
営業外収益		
受取利息	25	9
受取配当金	1,447	1,223
受取賃貸料	23,715	23,871
その他	45,173	33,535
営業外収益合計	70,362	58,640
営業外費用		
支払利息	20,770	14,271
不動産賃貸原価	5,486	5,442
その他	2,305	1,513
営業外費用合計	28,561	21,228
経常利益	591,560	776,213
特別利益		
固定資産売却益	-	1,424
特別利益合計	-	1,424
特別損失		
固定資産除却損	6,795	17,793
減損損失	-	86,466
特別損失合計	6,795	104,259
税金等調整前四半期純利益	584,764	673,377
法人税、住民税及び事業税	17,140	151,036
法人税等調整額	238,980	120,121
法人税等合計	256,121	271,157
少数株主損益調整前四半期純利益	328,643	402,219
四半期純利益	328,643	402,219

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	328,643	402,219
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	5,894	3,814
その他の包括利益合計	5,894	3,814
四半期包括利益	322,748	398,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,748	398,405
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	584,764	673,377
減価償却費	310,607	346,536
減損損失	-	86,466
貸倒引当金の増減額（は減少）	4,608	10,859
賞与引当金の増減額（は減少）	49,018	24,780
退職給付引当金の増減額（は減少）	2,116	3,077
受取利息及び受取配当金	1,473	1,233
支払利息	20,770	14,271
固定資産売却損益（は益）	-	1,424
固定資産除却損	6,795	17,793
売上債権の増減額（は増加）	346,679	126,500
たな卸資産の増減額（は増加）	16,127	6,046
仕入債務の増減額（は減少）	358,433	233,953
未払消費税等の増減額（は減少）	65,030	21,637
その他の資産の増減額（は増加）	19,323	20,144
その他の負債の増減額（は減少）	106,395	107,985
小計	985,658	1,375,764
利息及び配当金の受取額	1,506	1,233
利息の支払額	19,805	13,497
法人税等の支払額	89,854	29,625
法人税等の還付額	1,510	16,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	879,015	1,350,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	30,000	-
有形固定資産の取得による支出	314,770	347,088
有形固定資産の売却による収入	-	7,495
無形固定資産の取得による支出	560	7,300
投資有価証券の取得による支出	498	546
貸付金の回収による収入	230	-
その他の支出	9,465	41,264
その他の収入	2,706	4,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	292,358	384,700

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	610,000	-
短期借入金の返済による支出	550,000	570,000
長期借入れによる収入	700,000	900,000
長期借入金の返済による支出	1,061,379	567,376
リース債務の返済による支出	3,301	-
自己株式の取得による支出	238	59,433
配当金の支払額	69,898	69,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	374,818	366,699
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	211,838	599,177
現金及び現金同等物の期首残高	2,090,158	1,877,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,301,996	2,476,730

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更) 当社グループは、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法にもとづく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの
運送費 1,947,211千円	運送費 1,987,556千円
貸倒引当金繰入額 2,372千円	貸倒引当金繰入額 734千円
給与諸手当 685,083千円	給与諸手当 687,504千円
賞与引当金繰入額 125,124千円	賞与引当金繰入額 108,380千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 2,301,996千円	現金及び預金勘定 2,476,730千円
現金及び現金同等物 2,301,996千円	現金及び現金同等物 2,476,730千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	69,898	4.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	69,893	4.50	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	69,889	4.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月7日 取締役会	普通株式	68,982	4.50	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 (算定上の基礎)	21円16銭	26円12銭
四半期純利益金額(千円)	328,643	402,219
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	328,643	402,219
普通株式の期中平均株式数(株)	15,532,570	15,396,961

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成24年11月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定にもとづき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得する株式の種類 当社普通株式

(2) 取得する株式の総数 1,000,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 6.52%)

(3) 株式の取得価額の総額 330,000,000円(上限)

(4) 取得期間 平成24年11月12日～平成25年3月31日

(5) 株式取得の方法 大阪証券取引所における市場買付

2 【その他】

第43期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当については、平成24年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	68,982千円
1株当たりの金額	4円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年12月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月 8日

シノプフーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川崎 洋文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森村 圭志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシノプフーズ株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シノプフーズ株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。